

## 上野総合市民病院だより

### ◆治療と仕事の両立支援事業

皆さんは、治療と仕事の両立支援の取り組みをご存じでしょうか。

厚生労働省によると、何らかの病気により通院しながら働く労働者は3人に1人を超えています。このため令和8年4月から、すべての事業主に治療と仕事の両立支援に取り組む努力義務が課せられました。

取り組みの目的は、病気を抱える労働者が、治療を理由に仕事を断念したり、仕事の負担で病気が悪化したりするのを防ぐことです。適応される病気は、がんや脳卒中、心臓疾患、糖尿病などです。

労働者からの相談に応じて両立支援を行うのは、三重産業保健総合支援センター（津市）ですが、県内の各地域に出張相談窓口が設置されていて、伊賀・名張地域では当院がその窓口を担っています。

「治療をしながら仕事を続けたいけど不安がある」「職場の人に負担をかけるので仕事を辞めようか

といった内容の相談が寄せられています。

相談を希望する人は、事業主に相談した上で当院の地域医療連携室に連絡してください。地域医療連携室が三重産業保健総合支援センターと相談日時の調整をし、当院で個別相談を行うという流れになります。

病気を理由に仕事を辞める選択をする前に、まずは相談窓口にご連絡ください。

【相談窓口】 平日午前9時～午後4時

【連絡先】 ☎ 41-0061

(地域医療連携室 室長 中井 より子)



【イメージキャラクター】 ちりょうさ

## 伊賀市の文化財 165

### 愛宕神社本殿 附棟札

現在放送中のNHK大河ドラマ『豊臣兄弟!』では、藤堂高虎が主人公豊臣秀長と出会い知勇兼備の武将に成長しています。高虎ゆかりの神社のひとつが上野城下町南端の小丘陵に位置する愛宕神社です。

高虎は晩年に深刻な眼病を患っていたことから、城下の修験道寺院に命じて眼病平癒の祈禱を行わせました。

本神社も、眼病平癒を祈願して高虎自身が本殿となり、慶長5（1600）年に猪田山出の小天狗清蔵が創建した大福寺を母体に、元和2（1616）年に新たな社殿を建立しました。

ちなみに、上野天神祭のダンジリ行事に供奉する鬼行列は、眼病平癒の祈禱の褒美として修験道寺院が能面を賜ったことが始まりといわれています。

本殿は桁行5間(8.2m)、梁間2間(3.7m)の入母屋造の大きなもので、正面に3間(5.0m)の向拝が付き、中央の1間(1.8m)が軒唐破風とな



▲愛宕神社本殿

ります。当初は檜皮葺であったものを現在は銅板葺に改修しています。主要部は極彩色、他は朱塗りが施されています。軒唐破風を構え、多数の飾り金具や獣面木鼻、天井画など装飾が非常に多いことが特徴です。

寛文12（1672）年に大修理、文政2（1819）年には屋根の葺替修理がされたことが、棟札の墨書からわかります。きれいに彩られたお社が城下町の南から今も私たちを見守っています。

文化財課 ☎ 22-9678 FAX 22-9667

## 明日に向かって～差別をなくしていくために～

### その言葉、傷つく人はいませんか 一人権政策課

人権政策課には、学校や社会現場で起こった差別事象が数多く報告されています。そんな中、当課では毎年テーマを決めて「人権啓発リーフレット」を作成しています。リーフレットをもとに、地域の人と人権問題について考え、学習する場である「地区別懇談会」を進めたり、市内の小中学校や中学校で人権学習を行っています。今回は、差別につながる言葉を使用しない、使用させないということを目的に、『子どもたちと人権問題～言葉による差別をなくすために～』というテーマで作成しました。

これまでも広報いگاの中でお伝えしてきましたが、市内の保育所（園）や小中学校、学童保育などで、子どもから差別につながる発言が出ています。昨年は、大人から子どもに対する差別発言や、園児によるヘイトスピーチも出ていました。また、市内の小中学校でも、障がい者差別や、外国人差別など、

50件近くの差別事象が報告されました。

その後の聴き取りの中で、子どもは、家族など周りにいる大人が使っている言葉を聞いて、その言葉が相手を傷つける言葉だと分かっているが使用していたり、その言葉に含まれる差別性を理解しないまま、友だちとのトラブルの中で使っているということが明らかになりました。

子どもが、言葉による差別で大切な友だちを傷つけてしまわないように、何気なく使っている言葉の重みや、言葉に含まれる差別性について、学ばなければならないのは、私たち大人ではないでしょうか。

子どもは学校で人権学習を積み重ねています。ぜひ、リーフレットをご覧ください、また地域で開催される学習会などにご参加いただき、一緒に人権問題について考えていきましょう。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ



「イガプロ」とは、「イガ」と「プロダクト（製品）」、「プロフェッショナル（専門家）」などさまざまな「プロ」を掛け合わせた造語です。

### 上野ガス 上野ガス株式会社・上野都市ガス株式会社

当社は、LPガス・都市ガスの供給を通じ、地域の暮らしと産業を支えるエネルギー企業です。「安全・安心」を最優先に、設備の点検や防災活動に注力しながら、エネルギーの安定供給に努めています。

「地域とともに歩む」を信念に、省エネ機器の提案や環境に配慮したサービスを通じた環境負荷の低減、地域イベントへの協力、見守り活動といった地元密着の取り組みを大切にしています。単なるガス供給事業者ではなく、顔の見える関係性を築くことで、困ったときに真っ先に頼っていただける存在をめざしています。

おかげさまで、創立99周年を迎えることができました。これまでのご愛顧に感謝し、これからも時代の変化に柔軟に対応しながら、より身近で信頼されるパートナーとして地域社会の発展に貢献できるよう、日々邁進していきます。



#### ◆社員のコメント

大学では建築設備関係を専攻し、建築やインフラ業界に興味がありました。現在は、官公庁や企業へ空調の提案・設計から施工管理まで、一貫して携わっています。上司に相談しやすい温かい社風の中、一連の業務を経験できる点にやりがいを感じています。“地元で働きたい”“地域貢献に携わりたい”人にとって、自らの力を存分に発揮できる理想的な職場です。

(エネルギー設備開発グループ 大橋 拓生)



#### ◆会社概要

【創業】 昭和2年6月  
【所在地】 上野茅町 2706  
【従業員数】 100人  
【事業概要】 ガス販売、関連機器販売、工事・設計施工、住宅設備機器販売・設計施工  
【連絡先】 ☎ 21-3611  
<https://www.ueno-gas.co.jp/>



問 産業政策課 ☎ 22-9727 FAX 22-9695